

青年会議所(JC)とは?

What is JC?

【明るい豊かな社会】の実現を同じ理想とし「奉仕」「修練」「友情」と言う三信条のもと、次代の担い手として自覚と責任感を持った20歳から40歳までの「青年」で構成される団体です。国籍・人種・性別・職業・宗教の区別無く、個人の自由な意志によりその居住する各都市の青年会議所に入会することが出来ます。よく青年会議所を「JC」と呼びますが、『JC』とはjunior chamber(若い集合体)の略称です。

立川青年会議所とは?

What is Tachikawa JC?

立川青年会議所は1965年(昭和40年)に全国で300番目、東京では2番目に創立いたしました。立川青年会議所は立川・国立・武蔵村山の3市を活動エリアとして、まちづくり・ひとづくりの運動を展開しております。役員・組織・事業などは「組織の活性化と事業の斬新性」を保持するために、1年毎の単年度制の運営を行っています。メンバーが配属される委員会では、「例会」及び「事業」の開催を企画し、地域の諸問題から世界の問題まで幅広く調査・研究し、常に市民運動のリーダーを目指しています。

立川青年会議所メンバーからのメッセージ



松島 孝
2003年度入会

青年会議へは自分自身の向上の為にと思い入会を決意しましたが各事業への参加をすると同時に仲間が増えました。その結果スケジュール管理、仲間との絆、組織の仕組み、地域諸団体と交流など入会していなければ考えなかったことや知り合えなかった人など大変貴重な経験をしました。今ではとても充実したJC活動をしています。

世界の青年会議所の各国リーダーを見ると女性も多くいます。立川青年会議所も現在男性メンバーが多くを占めておりますが、女性ならではの気配りや視点は、私達が行う地域社会での活動に必要です。私自身、入会してここで多くの仲間に出会い、日々たくさんのことを勉強しています。自分の能力と可能性を高める絶好の場でもあります。皆様の入会をお待ちしております。



中川 夕香
2008年度入会

青年会議所出身の世界の著名人

アル・ゴア (アメリカ合衆国元副大統領)	ジェラルド・R・フォード (アメリカ合衆国元大統領)
アルベール2世 (モナコ公国・モナコ大公)	ジャック・カルネ・シラク (フランス元大統領)
ヴァルター・シェール (ドイツ元大統領)	ジョセフ・エストラーダ (フィリピン元大統領)
ウォルター・モンデール (アメリカ合衆国元副大統領)	ジョン・F・ケネディ (アメリカ合衆国元大統領)
ウゴ・バネセル・スアレス (ボリビア元大統領)	ジョン・ゲイシー (アメリカ合衆国セールスマン)
コフィー・アナナン (ガーナ共和国元国際連合事務総長)	など

青年会議所出身の国内の著名人

麻生 太郎 (第27代日本JC会頭 第92代内閣総理大臣)	市川 團藏 (歌舞伎役者)
石川 六郎 (鹿島建設名誉会長 東京商工会議所名誉会長)	稲尾 和久 (元プロ野球選手・野球解説者)
石原 伸晃 (衆議院議員)	犬丸 一郎 (元帝国ホテル社長)
小淵 恵三 (元内閣総理大臣)	岩波雄二郎 (ウシオ電機会長)
菅 直人 (元内閣総理大臣)	牛尾 治朗 (元鹿島建設社長)
小泉純一郎 (元日本JC会頭・元内閣総理大臣)	加藤 義和 (元加ト吉会長兼社長)
塩川正十郎 (元衆議院議員)	黒川 光朝 (虎屋会長 日本のJC創設メンバー)
白川 勝彦 (元衆議院議員)	黒川 光博 (虎屋社長)
平 将明 (衆議院議員)	坂田藤十郎 (歌舞伎役者)
武部 勤 (衆議院議員)	千 玄室 (茶道裏千家 前家元・宝塚歌劇団芸術大学大学院教授)
中曽根康弘 (元内閣総理大臣)	千 宗室 (茶道裏千家 家元)
鳩山 邦夫 (衆議院議員)	鳥居信一郎 (元サンヨー社長)
鳩山由紀夫 (前内閣総理大臣)	服部禮次郎 (元日本JC会頭・セイコー名誉会長)
森 喜朗 (元内閣総理大臣)	平尾 昌晃 (歌手・作曲家)
	など

2011年度年間例会スケジュール

1月11日(火)	4月27日(水)	8月 7日(日)	12月 1日(木)
2月 3日(水)	5月18日(水)	9月28日(水)	12月11日(日)
2月23日(水)	6月15日(水)	10月26日(水)	
3月23日(水)	7月13日(水)	11月 9日(水)	

※興味ございましたら是非ご覧下さい。

青年会議所についてQ&A

About JC, Q & A

- Q 商工会議所とは違うのですか?
A はい、違います。
商工会議所は商業発展を目指す団体ですが
青年会議所は地域のまちづくり団体です。
- Q いつ集まりがあるのですか?
A 月に1度(もしくは2度)の例会と、原則月1回の委員会があります。開催時間は19時頃からとなります。
- Q どんな方が参加していますか?
A あらゆる業種のメンバーが在籍しております。

■入会までの流れ

- ① 入会申し込み後、審査資料を提出する正副理事長会議の直前に開催された例会のうち、出席が2回
- ② オリエンテーション受講
- ③ 入会金(20,000円)、年会費の納入(130,000円)
※年会費は入会時期により差があります。
- ④ 理事会での承認
- ⑤ JCバッチ贈呈

■入会資格

立川市・国立市・武蔵村山市及び近郊に居住または勤務している満20歳から38歳未満の方。人種、国籍、性別、職業、宗教、思想の別なく、入会できます。

■入会申し込み

入会申込書に必要事項を記入の上、事務局にご提出下さい。ホームページからでもダウンロードできます。

<http://www.tachikawajc.or.jp>

★女性会員も募集しています★

世界的な視野に立てば、多くの国の青年会議所において、女性会員が過半数を占めているというのが現状となってきています。立川青年会議所においてはさらなる女性会員の拡大を実現させなければならないと考えております。

青年会議所は、メンバー同士がお互いに切磋琢磨しあい、様々な経験と哲発を受ける機会のある団体です。自分の能力を高めたい、信頼できる仲間と巡り会いたい、私たちのまちを良くしていきたい、そんな思いに男女の違いは関係ありません。男女両方の視点があつてこそ地域社会への奉仕活動も活きたものになります。

男の人の中に入って大丈夫かなと思われる方が多いと思いますが、何も心配はいりません。青年会議所ではメンバー同士が気軽に話せる雰囲気があり、皆がサポート合っています。たくさんの経営者が集まり、学べる出会いの場がここにはあります。

確かに男性の多い青年会議所ですが、女性だからといって躊躇せず、とにかく一度活動に参加してみませんか? 性別関係なく、きっと何か得る事があると思います。



社団法人立川青年会議所 ご案内



社団法人立川青年会議所 事務局

〒190-0012 東京都立川市曙町2-38-5 立川ビジネスセンタービル12F
TEL:042-527-1001 FAX:042-527-6600
E-mail: info@tachikawajc.or.jp <http://www.tachikawajc.or.jp>

2011年度スローガン

The Slogan in 2011



あいさつ

Greeting

はじめまして。2011年度の理事長を務めます、松浦孝治と申します。

私たち立川青年会議所(立川JC)は、主に立川・国立・武蔵村山の3市で在勤在住の100名を超える仲間が集い、共に街づくりや青少年育成に取り組んでいます。そしてこれらの活動は地域内に留まらず、国内各地に700余、更には世界115カ国のネットワークから成り立っており、多くの価値観や文化、言葉の壁を越えた「仲間」と繋がっています。



社団法人 立川青年会議所
第47代理事長 松浦 孝治
Takaharu Matsuura

立川JCにおいては、スローガンにもありますように、とりわけ2011年は、子ども達との関わりを多く築きながら、皆が笑顔になるために、子育て世代の先頭に立って様々な取り組みを展開しています。例えば、スポーツを通じた事業や自分と違う価値観を学ぶための異文化理解体験など、あらゆる角度から子ども達のたくましい心や体を育むための活動を行っています。こう書くと、なにか難しいことに聞こえるかも知れませんが、これら全ての事業は、専門家ではなく、職業も年齢も違う仲間の手によって創り上げられ、地域へと発信されていきます。それ以外にも、日本国内はもちろん、世界各地で開催される様々な機会を自分磨きチャンスを得ることができます。私自身、30歳を過ぎてから入会しましたが、初めての文化や価値観、経験したことのない事業に触れていく中で、幅広い視野と知識を得ることができ、そして多くの信頼できる仲間とめぐり会うことができました。

JCは40歳で「卒業」という世界共通のルールがあります。約17万人にのぼる世界中のJCメンバーが青年期とよばれる20代、30代という貴重な時間を地域のため、未来のため、そして自分創りのために過ごしています。

難しいことではありません。40歳までの限られた時間。多くのことを得られるチャンスがここにあります。皆さまのご入会を心よりお待ちしております。

立川青年会議所の沿革

History of Tachikawa JC

- 1965年 立川・昭島・国立・大和・村山の2市3町(当時)87名の有志により立川青年会議所設立
- 1966年 交通安全運動
- 1967年 小学校に「黄色いランドセルカバー」を寄贈
- 1970年 アメリカ・サンバーナディノJCと姉妹締結
- 1971年 韓国・温陽JCと姉妹締結
- 1972年 社団法人認可
- 1973年 ラブリバーキャンペーン
(公害のないきれいな川を取り戻そうと開催)
- 1974年 おっぱいキャンペーン
(母乳を通して親子のふれあい)
- 1977年 5市郷土文化展
- 1979年 防災問題会議の開催
- 1980年 5000人の市民意識アンケート調査の実施
ちびっこサマースクール開催
- 1983年 クリーン多摩川清掃
- 1984年 多摩メトロポリス祭を開催
- 1986年 立川青年経済人会議の開催
- 1997年 キッズフェスティバルの開催(子ども達の感動体験事業)
- 2003年 立川市長選挙公開討論会を開催
2000年代運動指針を策定
創立40周年記念フェスタ開催
運動指針に基づく「立川JC政策」を策定
- 2004年 「ゆめ基金」設立 花いっぱい運動
青少年協育プログラム「わくわくクラブ」の実施
- 2005年 むさしむらやまグリーンフェスタを開催
環境をテーマとした「The フェスタ」の開催
- 2006年 wellvoiceたちかわ市民討議会を開催
温陽JCと日韓交流事業
- 2007年 ふれあいフェスタ2007の開催
キャンドルナイト2007の開催
シビックティーチャーバンクを設立
国際多文化交流フェスティバルの開催
- 2008年 第21回国際アカデミーin立川の開催
- 2009年 「TACHIKAWA燃えよ商店街」の開催
- 2010年 スポーツ塾・サイエンスアカデミーの開催
2010年代運動指針を策定

立川青年会議所の活動

Activity of Tachikawa JC

【安全】ランドセルカバー寄贈
交通事故が増えた昭和40年代。「子ども達を事故から守れ」と当時の立川JCメンバーが呼びかけ、地域の小学生に黄色いランドセルカバーを贈りました。この活動が全国各地に広がりました。



【青少年】キッズサッカー大会
スポーツを通じた子ども達の心身の鍛練と健康の増進を目的として、青少年育成事業の一環として「キッズサッカー大会」を開催しています。

【行政】公開討論会

地域主権型社会の形成に向けた運動展開として、市民の自立的な意思形成の一助となることを目的とし、各種選挙に伴う公開討論会を開催しております。



【地域社会】市民討議会

地域や社会が抱える問題について、より多く、幅広く市民のみなさんご意見を伺う市民参画の方法として「市民討議会」を開催しております。「市民討議会」とは無作為に選ばれた市民や地域の住民がテーマごとに専門家などの意見を聞いた上で討議を行い、結論を導き、メディアなどを通じて発表していくものです。

【地域活性】燃えよ商店街

既存の商店街への加盟の有無を問わず、地域に密着し独自のアイデアや、行動による店舗経営を目指している市内商店を対象とする新たな「TACHIKAWA燃えよ商店街」というネットワーク作りです。



【青少年】わんぱく相撲

東京青年会議所から始まったわんぱく相撲。立川青年会議所も22回の歴史を数え、立川場所や武蔵村山場所の開催も行っていきます。日本の国技である相撲を通じて心身の鍛練と健康の増進を図り、勝つ喜びや負ける事の悔しさ、人を思いやる心を養い成長する事を目的として開催しています。



【教育】教育に関わる

「シビックティーチャーバンク」とは地域の大人達が積極的に教育に関わる仕組みです。登録いただいた市民の皆様が先生になり、仕事の話・人生経験・戦争体験などを子ども達に伝えていただきます。写真は小・中学校の総合学習の時間へ派遣されたゲストティーチャーの授業の様子です。

【国際】第21回国際アカデミー

国際化推進事業として「第21回国際アカデミーin立川」を開催。世界各国の青年会議所メンバーと地域の皆様がホームステイや、様々なプログラムを通じて国際交流を体験しました。



【青少年】スポーツ塾

地域の大人達と実行委員会を立ち上げ、地域の小学生を対象に様々なスポーツを経験させ健康やかな精神と肉体を養う為に開催しています。

【青少年】サイエンスアカデミー

理科離れの問題を解決する為に科学の面白さを伝えるイベントを東京大学サイエンスコミュニケーションサークルCASTやNPO法人ガリレオ工房、地域の企業、学校と協働に開催しました。多くの親子の参加があり科学に触れていました。

